

# 教育と文化

みんなで  
考えよう  
人権・同和問題  
No. 231

## 『人権作文』

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

子どもがいる家庭では、「人権作文の人権って何？」と聞かれたことがあるかもしれません。その時どのように答えましたか。人権とは『自分らしく幸せに生きるための権利』のことで、人は、性別や出身地などに関わらず、生まれてから息を引き取るその瞬間までこの権利を持つています。それを作文に書くとなると難しいようですが、「週に1回は息抜きをしに出かけた」と、「自分のことは自分で決めた」と、「周りにはたくさんの人権がふれています。それなのに、人は他人にも人権があることを忘れてしまうようです。他人の人権を踏みしめること、それが人権侵害です。」

例えば、インターネットを悪用した人権侵害。インターネットはとても便利なものですが、使い方を間違えると他人を傷つけることもありま

す。最近、コンピュータウイルスを作ったとして逮捕されたのは中学生でした。災害時にはわざとデマを流す人もいます。しかし危険だからと言って、インターネットを使わない世の中にはもう戻れません。火や刃物と同様、危険性を知ったうえで上手に付き合っていかなければなりません。そのためには、現実社会でコミュニケーション能力を高め、インターネットの向こうの見えない相手の気持ちを想像することが重要で、それが人権侵害を防ぐ第一歩です。

ところで、私たちは『人権』と言うと『侵害』というマイナスの方向に目が行きがちですが、人権が守られ、嬉しかったこともあるのではないのでしょうか。人権作文を書くという事は、自分自身を深く見つめ直す良い機会です。秋の夜長、大人の方も人権作文に挑戦してみてくださいはいかがでしょう。

## 郷土の文化財

伊万里湾の歴史シリーズ④

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 3186

### 松浦党

#### 〜中世松浦地方の主役〜

伊万里湾の中世の歴史を語るうえで、武士集団『松浦党』は欠かせない存在です。松浦党が歴史上に現れるのは平安時代の末期ごろからと言われています。その後、鎌倉幕府の御家人となり、室町時代の一揆契約状態で地域内の秩序を確固とし、戦国期を経て幕藩体制の成立とともに松浦党としての形を失いましたが、中心士族の今福松浦宗家は現在も続いています。

松浦党は各時代を通して、伊万里湾とその沖合の玄界灘を舞台に大陸との海上交通・交易を担っており、朝廷やその時の幕府が大陸と交渉する際の仲立ちも数多く務めてきました。

こうした活動の一方で、武士的な活動にも注目すべきものがありました。代表的なものとしては、鎌倉時代の元寇があります。大陸の元王朝から従属を迫られた鎌倉幕府が、これを拒否したことよって始まった文永の役と弘安の役において、松浦党の諸氏は元の熾烈な攻撃に真っ先にさらされながら果敢に戦ったことが資料に残されています。

このように中世において、伊万里湾とその周辺の地理的重要性は、それ以前の時代から飛躍的に増し、そこで活動する人々の姿も明らかになっています。



↑ 松浦党の党祖を祀る山ノ寺遺跡 (東山代町)

# 平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果

● 問合せ 学校教育課学校教育係 (☎☎3185)

4月18日に実施された平成29年度全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から公表されました。調査内容と市の調査結果の概要は次のとおりです。なお、調査結果については、市内の各小・中学校で分析し、課題を明らかにして具体的な対応策を考え、全職員の共通理解のもとで実践に移しています。

## 調査内容

### ■ 学年・教科など

- ▷ 小学校（第6学年）：国語A、国語B、算数A、算数B、質問紙（生活・意識）
- ▷ 中学校（第3学年）：国語A、国語B、数学A、数学B、質問紙（生活・意識）

### ■ 設問内容（AとBの違い）

- ▷ A（知識）：身に付けておかなければ、あとの学年で影響を及ぼす内容、実生活において不可欠である知識・技能など
- ▷ B（活用）：知識・技能などを実生活で活用する力、課題解決のための構想を立てて実践し、評価・改善する力など

## 調査結果

### 1 学力調査（正答率）

【下表下段：市の記号説明】

- ▷ 全国平均との比較（左側：黄色 □） ◎：上回っている ー：同程度 △：下回っている
- ▷ 県平均との比較（右側：青色 □） ○：上回っている ー：同程度 ▲：下回っている ※ 同程度とは0.4%以内の開き

#### 小学校（第6学年）

	国 語		算 数	
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
全 国	74.8%	57.5%	78.6%	45.9%
県	75.0%	56.0%	80.0%	44.0%
市	◎	○	△	○

市は、国語A、算数Aは全国平均を上回りました。国語B、算数Bは全国平均を下回りましたが、県平均を上回っています。Bの問題の中で、国語は『話す・聞くこと』、算数は『図形の活用』に課題がありました。

#### 中学校（第3学年）

	国 語		数 学	
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
全 国	77.4%	72.2%	64.6%	48.1%
県	77.0%	70.0%	62.0%	46.0%
市	△	▲	△	▲

市は、すべての教科区分で、全国・県平均を下回りました。領域別では、国語は『読むこと』、『書くこと』に、数学は『関数』、『資料の活用』、『数量や図形などについての技能、知識・理解』の定着にそれぞれ大きな課題がありました。

### 2 質問紙（生活・意識）調査

#### 小学校（第6学年）

#### ■ 全国・県との比較で良好だった項目

- ▷ テレビ・ビデオ・ゲーム・インターネットの時間が少ない
- ▷ 地域の行事に参加している
- ▷ 地域社会でボランティア活動に参加している

#### ■ 全国・県との比較で課題があった項目

- ▷ 朝食を毎日食べていない
- ▷ 毎日の就寝時刻が決まっていない
- ▷ 自分には良いところがあると思っていない
- ▷ 家庭（塾を含む）での勉強時間が少ない

#### 【児童の家庭（塾を含む）での勉強時間別割合】

	平 日		土・日曜日	
	2時間以上	1時間未満	2時間以上	1時間未満
全 国	27.1%	35.6%	24.6%	42.6%
県	22.8%	37.3%	21.0%	45.7%
市	18.1%	39.7%	17.4%	47.6%

#### 中学校（第3学年）

#### ■ 全国・県との比較で良好だった項目

- ▷ 朝食を毎日食べている
- ▷ 将来の夢や目標を持っている
- ▷ 地域の行事に参加している

#### ■ 全国・県との比較で課題があった項目

- ▷ 学校の規則を守っていない
- ▷ 人が困っているときに進んで助けていない
- ▷ 家で学校の予習や復習をしていない
- ▷ 家庭（塾を含む）での勉強時間が少ない

#### 【生徒の家庭（塾を含む）での勉強時間別割合】

	平 日		土・日曜日	
	2時間以上	1時間未満	2時間以上	1時間未満
全 国	35.4%	30.4%	41.8%	30.4%
県	28.7%	34.4%	36.0%	32.1%
市	23.9%	40.9%	25.9%	41.8%

### 3 今後も市として力を入れていくこと

#### ■ 学力の向上（学校）

- ▷ 授業のめあてを提示し、授業を振り返らせることで、学習に対する目的意識を高める
- ▷ 電子黒板などのICT機器を利活用した授業を展開することで教科に対する興味・関心を高める
- ▷ 学習した内容を定着させる宿題を提示することで、家庭学習の習慣を身に付けさせる

#### ■ 自己有用感を高め、他者への思いやりの心を持つ取り組みの推進（家庭・学校・地域）

- ▷ 成功体験を多く経験させることで、他者への感謝の心を養うとともに、思いやりの心を育む（道徳教育の推進）
- ▷ 認め励ますという場面を多く設定することで、周囲の人に大切にされているという実感を持たせる

※ 本調査は、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面を示すものです。